

公益社団法人東洋療法学校協会編教科書
2026年度 再版修正一覧表

『医療概論』 (p.1~2)
(中川 米造 監修)

第1版第38刷(2025年1月)から第1版第39刷(2026年1月)への修正

『衛生学・公衆衛生学』 (p.3~10)
(浜崎 景・姫野 誠一郎・出嶋 靖志・笹澤 吉明 著)

第2版第21刷(2025年1月)から第2版第22刷(2026年1月)への修正

『関係法規』 (p.11~12)
(前田 和彦 著)

第7版第17刷(2025年1月)から第7版第18刷(2026年1月)への修正

『解剖学』 (p.13)
(河野 邦雄 他著)

第2版第20刷(2025年1月)から第2版第21刷(2026年1月)への修正

『生理学』 (p.13)
(内田 さえ・原田 玲子 他著)

第3版第12刷(2025年1月)から第3版第13刷(2026年1月)への修正

『病理学概論』 (p.13)
(滝澤 登一郎・畠山 茂 著)

第2版第23刷(2025年1月)から第2版第24刷(2026年1月)への修正

『解剖生理』 (p.14)
(上田 晃・内田 さえ・鍵谷 方子・原田 彰宏 著)

第1版第2刷(2025年1月)から第1版第3刷(2026年1月)への修正

『臨床医学総論』 (p.15)
(奈良 信雄 著)

第2版第17刷(2025年1月)から第2版第18刷(2026年1月)への修正

『臨床医学各論』 (p.16~17)
(奈良 信雄・佐藤 千史・三宅 修司・西元 慶治・山口 武兼・三高 千恵子 著)

第2版第22刷(2025年1月)から第2版第23刷(2026年1月)への修正

2026年4月
医歯薬出版株式会社

『医療概論』

頁	行	項目	第1版第38刷(2025年1月) 該当箇所	第1版第39刷(2026年1月) 修正
76	下から 10	a. 感染症から生活 習慣病へ	… <u>2023</u> 年の死亡率は <u>13.0</u> となり、 死因順位は、 <u>2023</u> 年には…	… <u>2024</u> 年の死亡率は <u>13.3</u> となり、 死因順位は、 <u>2024</u> 年には…
	下から5		…1970年には <u>13.1</u> 、 <u>2023</u> 年には 1.8まで下降	…1970年には <u>13.1</u> 、 <u>2024</u> 年には 1.8まで下降
84	下から 5~4	B) 東洋医学の課題	…処方できるようになった、 <u>2003</u> 年初頭現在、約 <u>150</u> 種類(処方) の漢方製剤と約 <u>160</u> 種類の生薬が 保険適用となっている、…	…処方できるようになった、 <u>2025</u> 年初頭現在、約 <u>150</u> 種類(処方) の漢方製剤と約 <u>240</u> 種類の生薬が 保険適用となっている、…
87	7~9	B) 医療施設	わが国における病院と一般およ び歯科診療所の総数は、 <u>2022</u> 年 において <u>181,093</u> 施設であり、病床 数は <u>1,573,451</u> 床である。その うち病院は、 <u>8,156</u> 施設で、一般診療 所は <u>105,182</u> 施設である。	わが国における病院と一般およ び歯科診療所の総数は、 <u>2023</u> 年 において <u>179,834</u> 施設であり、病床 数は <u>1,557,020</u> 床である。その うち病院は、 <u>8,122</u> 施設で、一般診療 所は <u>104,894</u> 施設である。
	11		…減少傾向であるが、 <u>2022</u> 年現 在、「 <u>50</u> 床~ <u>99</u> 床」の病院が、…	…減少傾向であるが、 <u>2023</u> 年現 在、「 <u>50</u> 床~ <u>99</u> 床」の病院が、…
88	下から 3~1		<u>2021</u> 年度には、前年度に比べ <u>2</u> 兆 <u>694</u> 億円増加し、 <u>45</u> 兆 <u>359</u> 億円に なった。この <u>2021</u> 年度の国民医 療費での国民一人あたりの医療費 は <u>35</u> 万 <u>8,800</u> 円で、国民医療費 の国内総生産に対する割合は <u>8.18%</u> になっている。	<u>2022</u> 年度には、前年度に比べ <u>1</u> 兆 <u>6,608</u> 億円増加し、 <u>46</u> 兆 <u>6,907</u> 億 円になった。この <u>2022</u> 年度の 国民医療費での国民一人あたりの医 療費は <u>37</u> 万 <u>3,700</u> 円で、国民医 療費の国内総生産に対する割合は <u>8.24%</u> になっている。
89	2~5	B) 国民医療費の変 遷および内訳	<u>2021</u> 年度のそれをみると、大きな 比率を占めている順に、医療保険 と労災補償等が含まれる「医療保 険等給付分」 <u>45.7%</u> 、老人保健法 による「後期高齢者医療給付分」 <u>34.9%</u> 、患者の一部負担等の「患 者負担分」 <u>12.1%</u> 、生活保護法な どの法律および予算措置による (公的医療負担の項参照)「公費負 担医療給付分」 <u>7.4%</u> である。…	<u>2022</u> 年度のそれをみると、大きな 比率を占めている順に、医療保険 と労災補償等が含まれる「医療保 険等給付分」 <u>45.2%</u> 、老人保健法 による「後期高齢者医療給付分」 <u>35.2%</u> 、患者の一部負担等の「患 者負担分」 <u>12.1%</u> 、生活保護法な どの法律および予算措置による (公的医療負担の項参照)「公費負 担医療給付分」 <u>7.5%</u> である。…
	9~11		… <u>2021</u> 年度の医科診療医療費を 主傷病による疾病分類別にみる と、医療費の多い順に「循環器系 の疾患」(<u>18.9%</u>)、「新生物」 (<u>14.9%</u>)となっている。年齢階 級別医療費でみると、医科診療 医療費総数の <u>63%</u> 以上が…	… <u>2022</u> 年度の医科診療医療費を 主傷病による疾病分類別にみる と、医療費の多い順に「循環器系 の疾患」(<u>18.2%</u>)、「新生物」 (<u>14.7%</u>)となっている。年齢階 級別医療費でみると、医科診療 医療費総数の <u>60%</u> 以上が…

91	下から 15～13	3) 医療保険のしくみ	…それぞれの医療保険適用者数(2021年度末)は、被用者保険が7,747万人(全体の62.5%)、国民健康保険が2,805万人(全体の22.6%)、後期高齢者医療制度が1,843万人(全体の14.9%)であり、…	…それぞれの医療保険適用者数(2022年度末)は、被用者保険が7,759万人(全体の62.8%)、国民健康保険が2,677万人(全体の21.7%)、後期高齢者医療制度が1,914万人(全体の15.5%)であり、…
	下から 2～1	A) 被用者保険(職域保険)	これらの被用者保険適用者の構成比(2021年度末)は、協会けんぽ52.0%、組合健保36.6%、共済組合11.2%、…	これらの被用者保険適用者の構成比(2022年度末)は、協会けんぽ50.8%、組合健保36.3%、共済組合12.7%、…
92	下から 15～13	B) 国民健康保険(地域保険)	2021年度末時点で、国民健康保険の保険者数・被保険者数は、(市町村)国民健康保険では保険者数1,716(市町村)、被保険者数2,537万人であり、国民健康保険組合では保険者数162(組合)、被保険者数268万人となっている。	2022年度末時点で、国民健康保険の保険者数・被保険者数は、(市町村)国民健康保険では保険者数1,716(市町村)、被保険者数2,413万人であり、国民健康保険組合では保険者数158(組合)、被保険者数264万人となっている。
93	1	C) 後期高齢者医療制度	下線部を追加	る保険料の「自己負担」が1割(一定以上の所得者は2割、現役並み所得者は3割)で設
95	14	4) 公的医療負担	2024年4月現在では341疾患の「難病」への公的医療費助成が行われている。	2025年4月現在では348疾患の「難病」への公的医療費助成が行われている。

『衛生学・公衆衛生学』

頁	行	項目	第2版第21刷（2025年1月） 該当箇所	第2版第22刷（2026年1月） 修正
2	11～12	2. 衛生学・公衆衛生学の歴史	…生きている。もちろん、 日本を 含め 世界には農村、漁村、山村、都市などさまざまな社会が現存していることを忘れてはならない。	…生きている。現在、世界には農村、漁村、山村、都市などさまざまな社会が現存し、私たちの健康や病気に影響を及ぼしている。
	下から9		…ヒトの体液は血液、 <u>黄胆汁</u> 、 <u>粘液</u> 、 <u>黒胆汁</u> から	…ヒトの体液は血液、 <u>粘液</u> 、 <u>黄胆汁</u> 、 <u>黒胆汁</u> から
27	下から9～8	(4) 喫煙	… 2023 年の日本版のテーマは「 たばこの健康影響を 知ろう！ 望まぬ 受動喫煙のない社会を目指して～」であった。	… <u>2025</u> 年の日本での禁煙週間のテーマは「 <u>受動喫煙のない社会を目指して ～私たちができることをみんなで考えよう～</u> 」であった。
29	7～8	(1) 保健所の機構	…都道府県立が352、政令市立が <u>93</u> 、東京都特別区立が23、合計 <u>468</u> か所に保健所を設置している（ <u>2024</u> 年）。	…都道府県立が352、政令市立が <u>87</u> 、東京都特別区立が23、合計 <u>462</u> か所に保健所を設置している（ <u>2025</u> 年4月）。
	下から5～4		勤務している。全国合計の保健所の数は <u>468</u> である。東京都は <u>31</u> でもっとも多い（ <u>2024</u> 年4月）。	下線部を削除
37	下から14	(3) 医療保障	国全体の医療費を国民医療費（ <u>2021</u> 年度に <u>45.0</u> 兆円）という。 …	国全体の医療費を国民医療費（ <u>2022</u> 年度に <u>46.7</u> 兆円）という。 …
	下から2～1		医療保険の適用人口は、 <u>2021</u> 年度末現在で高齢者を含む国民健康保険が <u>4,648</u> 万人、給与所得者などの被用者保険本人が <u>4,632</u> 万人、その被扶養者が <u>3,115</u> 万人である。	医療保険の適用人口は、 <u>2022</u> 年度末現在で高齢者を含む国民健康保険が <u>4,591</u> 万人、給与所得者などの被用者保険本人が <u>4,715</u> 万人、その被扶養者が <u>3,044</u> 万人である。
38	6～13	(4) 国民医療費	6行目～13行目の下線部を修正	
			2022年度の国民医療費は <u>46.7</u> 兆円で、前年度比 <u>3.4%</u> の増加であった。国民所得に占める割合は <u>8.24%</u> 、1人当たり年間医療費は、 <u>37.3</u> 万円であった。 国民医療費の負担区分別構成割合（ <u>2022</u> 年度）は、医療保険等給付分は <u>45.2%</u> 、後期高齢者医療給付分は <u>35.2%</u> 、患者等負担分は <u>12.1%</u> となっている。 国民医療費のうち、歯科治療費、薬剤調剤費、入院時食事・生活などは <u>25.6%</u> で、あとの <u>72.4%</u> は医科関係の入院と外来の一般診療費、その他 <u>2.0%</u> である。 年齢階級別では、人口の <u>29.0%</u> を占める65歳以上の人口が国民医療費の <u>60.2%</u> を消費している（ <u>2022</u> 年度）。また1人当たりの医療費は、…	
45	下から11～10	1) 食品の意義と食生活	… <u>2019</u> 年国民健康・栄養調査の結果によれば、男性では <u>30～60</u> 歳代で <u>29～40%</u> を占め、女性では <u>50～70</u> 歳以上で <u>21～28%</u> を占める。 …	… <u>2023</u> 年国民健康・栄養調査の結果によれば、男性では <u>30～70</u> 歳代で <u>29～35%</u> を占め、女性では <u>50～70</u> 歳以上で <u>22～25%</u> を占める。 …

45	下から 4		… <u>2019</u> 年国民健康・	… <u>2023</u> 年国民健康・
46	3～4		…特に、 <u>2019</u> 年国民健康・栄養調査の結果によれば、20代女性の「やせ」は <u>20.7%</u> である。…	…特に、 <u>2023</u> 年国民健康・栄養調査の結果によれば、20代女性の「やせ」は <u>20.2%</u> である。…
48	4	1) 食品の意義と食生活	… <u>2019</u> 年国民健康・栄養調査の結果では、…	… <u>2023</u> 年国民健康・栄養調査の結果では、…
	10～11		…「日本人の食事摂取基準（2020年版）」においても、高血圧予防の観点から、成人の食塩の摂取量は <u>男性 7.5g 未満、女性 6.5g 未満が望ましいと</u> されている。	…「日本人の食事摂取基準（2025年版）」においても、高血圧予防の観点から、成人の食塩の摂取量は <u>6g 未満に抑えることが推奨</u> されている。
55	13	(1) 栄養素の欠乏または過剰	<u>2019</u> 年の国民健康・栄養調査の結果では成人男性 <u>10.9g</u> 、成人女性 <u>9.3g</u> とやや高い。	<u>2023</u> 年の国民健康・栄養調査の結果では成人男性 <u>10.7g</u> 、成人女性 <u>9.1g</u> とやや高い。
60	下から 7	(1) 指定添加物	(<u>2024</u> 年 3 月末現在)。たとえば…	(<u>2025</u> 年 3 月末現在)。たとえば…
61	3	(2) 指定添加物以外の食品添加物	… <u>2024</u> 年 3 月現在 357 品目が…	… <u>2025</u> 年 3 月現在 357 品目が…
64	13	5) 食中毒	推移している。 <u>2023</u> 年の食中毒の事件数は <u>1,021</u> 件、患者数は <u>11,803</u> 人でうち 4 名が	推移している。 <u>2024</u> 年の食中毒の事件数は <u>1,037</u> 件、患者数は <u>14,229</u> 人でうち 4 名が
	下から 14～10		下から 14 行目～下から 10 行目を以下の文章に差し替え するものが <u>30.6%</u> と最も多く、次いで複合調理食品が <u>5.0%</u> 、野菜及びその加工品が <u>4.5%</u> の順であった。病因物質の判明した事件数では、アニサキスが全体の <u>32.3%</u> 、次いでノロウイルスが <u>27.0%</u> を占めている。患者数ではノロウイルスが全体の <u>61.7%</u> を占めている。原因施設別の事件数は、判明したもののうち飲食店が <u>64.9%</u> 、次いで家庭が <u>12.8%</u> を占めている。	
68	下から 1～次頁 1	(2) ウイルス性食中毒	…注意が必要である。 <u>2023</u> 年度の病因物質別の食中毒事件のうち、ノロウイルスに起因するものが <u>16.3%</u> であった。	…注意が必要である。 <u>2024</u> 年度の病因物質別の食中毒事件のうち、ノロウイルスに起因するものが <u>27.0%</u> であった。
70	下から 2～1	(5) 寄生虫性食中毒	あげられる。 <u>2023</u> 年度の病因物質別の食中毒事件のうち、アニサキスに起因するものが <u>43.2%</u> を占めている。	あげられる。 <u>2024</u> 年度の病因物質別の食中毒事件のうち、アニサキスに起因するものが <u>32.3%</u> を占めている。
71	下から 2	7) 遺伝子組替え食品	… <u>2024</u> 年 3 月末現在、 <u>334</u> 品種の食品と <u>83</u> 品目の添	… <u>2025</u> 年 3 月末現在、 <u>337</u> 品種の食品と <u>86</u> 品目の添
74	下から 2～次頁 1	2) 運動と健康の保持・増進	しかしながら、 <u>2019</u> 年の国民健康・栄養調査によれば、週 2 回、1 回 30 分以上の運動を 1 年間継続している運動習慣のある人の割合は、成人男性で <u>33.4%</u> 、成人女性で <u>25.1%</u> と、…	しかしながら、 <u>2023</u> 年の国民健康・栄養調査によれば、週 2 回、1 回 30 分以上の運動を 1 年間継続している運動習慣のある人の割合は、成人男性で <u>36.2%</u> 、成人女性で <u>28.6%</u> と、…

77	2～3	1. 環境とは	…がん、心疾患、肺炎、脳血管疾患である。これらの生活習慣病は特定の病因によって、…	…がん、心疾患、老衰、脳血管疾患である。これらのうち、生活習慣病と呼ばれる疾病は特定の病因によって、…
163	6～7	1. 母子保健の意義	特殊出生率(平均こども数)は1.26と最低であったが、2006年は1.32で6年ぶりに上昇し、2015年は1.45まで上昇し、その後漸減し、 <u>2023年</u> は <u>1.20</u> に減少している。…	特殊出生率(平均こども数)は1.26と減少し、2006年は1.32で6年ぶりに上昇し、2015年は1.45まで上昇し、その後漸減し、 <u>2024年</u> は <u>1.15</u> と過去最低になっている。…
169	10～11	4. 母体保護と家族計画	<u>医師の届け出をまとめた母体保護統計</u> によると、人工妊娠中絶数は減少してはきたが、全国で年間約12万6千件(<u>2021年</u>)にのぼる。	<u>厚生労働省の衛生行政報告例</u> によると、人工妊娠中絶数は減少してはきたが、全国で年間約12万6千件(<u>2023年</u>)にのぼる。
	下から5～3	1) 少子化問題	…合計特殊出生率は過去最低の <u>1.26</u> であり、その後やや上昇傾向が続いたが、2016年以降再び低下し、 <u>2022年</u> は <u>1.26</u> まで低下している。	…合計特殊出生率はそれまでの過去最低の <u>1.26</u> となり、その後やや上昇傾向が続いたが、2016年以降再び低下し、 <u>2023年</u> は <u>1.15</u> と過去最低になっている。
179	下から3	2) 健康診断	…あげられる。 <u>2024年</u> 4月現在の定期健康診断の…	…あげられる。 <u>2025年</u> 4月現在の定期健康診断の…
185	下から4～2	1) 児童生徒の死亡の状況	…心疾患である。 <u>2023年</u> の5～19歳の死亡者数は <u>2,104</u> 人であり、医学的対応のみではその予防が十分にできない死因(不慮の事故、自殺)が <u>1,041</u> 人とその半数程度を…	…心疾患である。 <u>2024年</u> の5～19歳の死亡者数は <u>2,146</u> 人であり、医学的対応のみではその予防が十分にできない死因(不慮の事故、自殺)が <u>1,024</u> 人とその半数程度を…
191	下から6～5	1. 成人・高齢者保健の意義	…全人口の約 <u>25%</u> を占める老年人口が使っている。	…全人口の約 <u>30%</u> を占める老年人口が使っている。 <u>2024年度</u> の国民医療費は <u>48兆円</u> で過去最高を更新し、 <u>75歳以上</u> の後期高齢者の医療費が初めて全体の <u>4割</u> を超えた。
192	1		認知症高齢者は、 <u>156万人</u> いると推定されている(<u>2000年</u>)。	認知症高齢者は、 <u>443万人</u> いると推定されている(<u>2022年</u>)。
193	13～14	1) 悪性新生物の予防と対策	…約 <u>30%</u> を占めるに至った(<u>2023年</u> は <u>24.3%</u>)。 わが国のがん死亡率(<u>2022年</u> 、人口10万対)は、男性で <u>385.4</u> 、女性で <u>197.4</u> と性差	…約 <u>30%</u> を占めるに至った(<u>2024年</u> は <u>23.9%</u>)。 わが国のがん死亡率(<u>2024年</u> 、人口10万対)は、男性で <u>379.4</u> 、女性で <u>262.5</u> と性差
	下から12		…女性で大腸、気管・気管支および肺、膵、 <u>乳房</u> 、 <u>結腸</u> の順である。…	…女性で大腸、気管・気管支および肺、膵、 <u>結腸</u> 、 <u>乳房</u> の順である。…
	下から3		は男 <u>23.9%</u> 、女 <u>14.2%</u> となっている。	は男 <u>23.6%</u> 、女 <u>14.3%</u> となっている。

193	下から1 ～次頁2		…胃がんは秋田、 島根 、山形に多く、肺がんは北海道、青森、和歌山に多く、乳がんは青森、岩手、山口に多く、子宮がんは青森、宮崎、島根に多い（2022年）。	…胃がんは秋田、山形、新潟に多く、肺がんは北海道、和歌山、青森に多く、乳がんは北海道、青森、秋田に多く、子宮がんは秋田、山口、高知に多い（2024年）。																																												
195	10～12	1) 悪性新生物の予防と対策	…胃がん：男 49.5%，女 36.5%，肺がん：男 53.2%，女 46.4%，子宮がん：女 43.6%，乳がん：女 49.4%…	…胃がん：男 47.5%，女 36.5%，肺がん：男 53.2%，女 46.4%，子宮がん：女 43.6%，乳がん：女 47.4%…																																												
	下から16		進め、2024年4月現在、がん診療連携拠点病院 400 施設、地域がん診療病院 61 施設が	進め、2025年4月現在、がん診療連携拠点病院 403 施設、地域がん診療病院 59 施設が																																												
196	3～4	2) 心臓疾患の予防と対策	…全国の死亡数は約 23 万 1 千人で、全死亡中の 14.7% を占め、死因順位はがんに続いて第 2 位である（2023 年）。…	…全国の死亡数は約 22 万 6 千人で、全死亡中の 14.1% を占め、死因順位はがんに続いて第 2 位である（2024 年）。…																																												
198	9～11	(1) 高血圧	日本高血圧学会によるガイドライン（JSH 2014）において、 図 9-3 のように収縮期および拡張期血圧の組み合わせに応じて至適血圧から重症高血圧までの 6 段階に分類されている。	日本高血圧学会によるガイドライン（JSH 2025）において、 表 9-4 のように収縮期および拡張期血圧の組み合わせに応じて至適血圧から重症高血圧までの 6 段階に分類されている。診察室での血圧が 140/90 mmHg 以上、家庭での血圧が 135/85 mmHg 以上ある場合を高血圧とする。																																												
198	図 9-3	図 9-3 を下表に差し替え																																														
		<p style="text-align: center;">表 9-4 成人における血圧値の分類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th colspan="2">診察室血圧 (mmHg)</th> <th colspan="2">家庭血圧 (mmHg)*</th> </tr> <tr> <th>収縮期血圧</th> <th>拡張期血圧</th> <th>収縮期血圧</th> <th>拡張期血圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正常血圧</td> <td><120</td> <td>かつ <80</td> <td><115</td> <td>かつ <75</td> </tr> <tr> <td>正常高値血圧</td> <td>120～129</td> <td>かつ <80</td> <td>115～124</td> <td>かつ <75</td> </tr> <tr> <td>高値血圧</td> <td>130～139</td> <td>かつ/または 80～89</td> <td>125～134</td> <td>かつ/または 75～84</td> </tr> <tr> <td>I 度高血圧</td> <td>140～159</td> <td>かつ/または 90～99</td> <td>135～144</td> <td>かつ/または 85～89</td> </tr> <tr> <td>II 度高血圧</td> <td>160～179</td> <td>かつ/または 100～109</td> <td>145～159</td> <td>かつ/または 90～99</td> </tr> <tr> <td>III 度高血圧</td> <td>≥180</td> <td>かつ/または ≥110</td> <td>≥160</td> <td>かつ/または ≥100</td> </tr> <tr> <td>(孤立性) 収縮期高血圧</td> <td>≥140</td> <td>かつ <90</td> <td>≥135</td> <td>かつ <85</td> </tr> </tbody> </table> <p>*家庭血圧の値は診察室血圧値と同程度の脳心血管病発症リスクとなることから、5 あるいは 10 の区切りで血圧値を分類していることから、実際の点推定値とは数 mmHg 程度の差がある。 (日本高血圧学会高血圧管理・治療ガイドライン委員会編：高血圧管理・治療ガイドライン 2025. p45, 表 5-5, ライフサイエンス出版, 2025 より転載)</p>				分類	診察室血圧 (mmHg)		家庭血圧 (mmHg)*		収縮期血圧	拡張期血圧	収縮期血圧	拡張期血圧	正常血圧	<120	かつ <80	<115	かつ <75	正常高値血圧	120～129	かつ <80	115～124	かつ <75	高値血圧	130～139	かつ/または 80～89	125～134	かつ/または 75～84	I 度高血圧	140～159	かつ/または 90～99	135～144	かつ/または 85～89	II 度高血圧	160～179	かつ/または 100～109	145～159	かつ/または 90～99	III 度高血圧	≥180	かつ/または ≥110	≥160	かつ/または ≥100	(孤立性) 収縮期高血圧	≥140	かつ <90	≥135
分類	診察室血圧 (mmHg)		家庭血圧 (mmHg)*																																													
	収縮期血圧	拡張期血圧	収縮期血圧	拡張期血圧																																												
正常血圧	<120	かつ <80	<115	かつ <75																																												
正常高値血圧	120～129	かつ <80	115～124	かつ <75																																												
高値血圧	130～139	かつ/または 80～89	125～134	かつ/または 75～84																																												
I 度高血圧	140～159	かつ/または 90～99	135～144	かつ/または 85～89																																												
II 度高血圧	160～179	かつ/または 100～109	145～159	かつ/または 90～99																																												
III 度高血圧	≥180	かつ/または ≥110	≥160	かつ/または ≥100																																												
(孤立性) 収縮期高血圧	≥140	かつ <90	≥135	かつ <85																																												
199	11～12	(2) 脳卒中	…第 3 位となり、2023 年現在では、死亡数は 10 万 5 千人で全死亡数の 6.6% を占め、…	…第 3 位となり、2024 年現在では、死亡数は 10 万 3 千人で全死亡数の 6.4% を占め、…																																												

200	3～4	(1) 糖尿病	…わが国の糖尿病死亡率は <u>2023</u> 年に人口 10 万対男性が <u>14.8</u> , 女性が <u>10.8</u> で, …	…わが国の糖尿病死亡率は <u>2024</u> 年に人口 10 万対男性が <u>14.7</u> , 女性が <u>10.3</u> で, …
	下から 3		約 1,000 万人と推定される. <u>2019</u> 年の…	約 1,000 万人と推定される. <u>2023</u> 年の…
201	下から 13～11	(2) 前立腺肥大	…数十倍に増加した (<u>2022</u> 年は <u>13,439</u> 人). 人口の年齢構成の影響を考慮した年齢調整死亡率 (人口 10 万人当たりの死亡数) も 1950 年の 0.5 から <u>2023</u> 年には <u>22.7</u> と急増している. …	…数十倍に増加した (<u>2024</u> 年は <u>13,670</u> 人). 人口の年齢構成の影響を考慮した年齢調整死亡率 (人口 10 万人当たりの死亡数) も 1950 年の 0.5 から <u>2024</u> 年には <u>23.4</u> と急増している. …
204	表 9-4	保健指導対象者の選定と階層化	(ステップ 2・②脂質) ④中性脂肪 150mg/dl(やむを得ない場合は随時中性脂肪 175 g/dl 以上) 以上 または	(ステップ 2・②脂質) ④中性脂肪 150mg/dl <u>以上</u> (やむを得ない場合は随時中性脂肪 175 g/dl 以上) または
206	下から 4	6. 難病対策の現状	…サルコイドーシスなど <u>2024</u> 年 4 月現在 <u>341</u> 疾病にのぼる.	…サルコイドーシスなど <u>2025</u> 年 4 月現在 <u>348</u> 疾病にのぼる.
219	8～9	1) 感染源対策	…検疫が行われる. <u>2024</u> 年 4 月現在, 日本では 80 か所の検疫海港と <u>31</u> か所の検疫空港が設けられている.	…検疫が行われる. <u>2025</u> 年 4 月現在, 日本では 80 か所の検疫海港と <u>32</u> か所の検疫空港が設けられている.
225	表 10-4	日本の現在の定期の予防接種	本冊子 10 頁に差し替え	
226	下から 1～次頁 2	コラム	<u>2024</u> 年 <u>10</u> 月までの WHO 発表の感染者数は多い国順に, 米国 1 億 300 万人, 中国 9,940 万人, インド 4,500 万人, フランス 3,900 万人で, 8 番目に日本 3,380 万人, 世界合計 7 億 <u>7,638</u> 万人. また, 世界の死者数は <u>706</u> 万人. …	<u>2025</u> 年 <u>8</u> 月までの WHO 発表の感染者数は多い国順に, 米国 1 億 300 万人, 中国 9,940 万人, インド <u>4,510</u> 万人, フランス 3,900 万人で, 8 番目に日本 3,380 万人, 世界合計 7 億 <u>7,849</u> 万人. また, 世界の死者数は <u>710</u> 万人…
	8～9		…第 11 波のピークを迎えた. なお, 「波」を経るごとに死亡率は <u>下がっている</u> .	…第 11 波のピークを迎えた. <u>ただ</u> , それ以降も周期的に波は出現しているものの, 「第 0 波」という表現は用いられなくなった. なお, 「波」を経るごとに死亡率は <u>低下している</u> .
	下から 23		…第 6 回は 16%と下がった. <u>2024</u> 年 10 月現在も, ワクチン接種を有料で受けることはできるが, 基本的には, 65 歳以上の高齢者や基礎疾患をもつ 60 歳から 64 歳の人などが対象である (無料).	…第 6 回は 16%と下がった. <u>なお</u> , <u>2024</u> 年度から, 新型コロナワクチンの接種は定期接種に位置づけられ, 対象は 65 歳以上の者, または 60 歳から 64 歳で一定の基礎疾患を有する者となった.

226	下から 2～1	コラム	…訪日外客数も徐々に増え、2024年9月では、前年同期比では増加しており、台風などの影響で一時的な減少がみられたが、それでもコロナ禍前の水準に戻りつつある。	…訪日外客数も徐々に増え、2024年の年間訪日客数は3,687万人となり、コロナ禍前の2019年3,188万人を上回る記録を達成している。
263	5～6	2) 性・年齢別人口構成	…また、74～76歳の第一次ベビーブーム期に生まれた世代、いわゆる「団塊の世代」と49～52歳の第二次ベビーブーム期に…	…また、75～77歳の第一次ベビーブーム期に生まれた世代、いわゆる「団塊の世代」と50～53歳の第二次ベビーブーム期に…
265	下から2 ～次頁1	3) 出生数と出生率	<u>2023年</u> の日本の出生数は約73万人であった(図13-4)。出生数の統計が取られるようになった1899年以降、2016年にはじめて100万人を下回り、以降さらに減少し続けている。ある人口の…	日本の出生数は、第2次ベビーブーム(1971～1974年)当時は年間約200万人であったが(図13-4)、その後減少し続け、2024年には出生数の統計が取られるようになった1899年以降、最少の約69万人となった。ある人口の…
266	5	3) 出生数と出生率	下線部を追加	れることもある。2024年の出生率は5.7である。
267	2	4) 年齢別出生率および合計特殊出生率	2023年には1.20となった(図13-4)。…	2024年には1.15となった(図13-4)。…
	下から3	5) 粗死亡率	…(表13-2)、2023年には13.0(概数)となっている。	…(表13-2)、2024年には13.3(概数)となっている。
268	7	6) 年齢別死亡率	図13-6に1935年と2022年およびその間の…	図13-6に1935年と2024年およびその間の…
270	2～5	7) 年齢調整死亡率	…増したためである。しかし、粗死亡率が1980年ころから上昇傾向を示しているのに対して、年齢調整死亡率は、いずれのモデル人口を用いた場合にも、1980年以降もほぼ一貫して低下してきていることがわかる。	…増したためである。粗死亡率が1980年ころから上昇傾向を示しているのに対して、年齢調整死亡率は、いずれのモデル人口を用いた場合にも、1980年～2020年は低下してきた。2015年モデル人口を用いるようになってから、年齢調整死亡率は粗死亡率の値に近づき、2023年にはやや上昇した。
272	1～5	8) 死因別死亡率	…3位となっている。1994～1995年に脳血管疾患と心疾患の死亡率が大きく変化しているが、この変化は適用される国際的な死因分類の変更(ICD9→ICD10)による影響が大きき要因である。そのまうに、死因統計については、適用される死因分類や死亡診断書の改正などに留意して経時的变化を見る必要がある。	…3位となっている。死因の将来予測によると、老衰の死因順位は5年以内に2位となり、2040年代には死因のトップになるものと予測されている。1994～1995年に脳血管疾患と心疾患の死亡率が大きく変化しているが、この変化は適用される国際的な死因分類の変更(ICD9→ICD10)による影響が大きき要因である。
	3		下線部を追加	…図13-8に男女別に老衰を除く主要死因の

274	9	9) 生命表	…ことができる。 <u>現在の日</u>	…ことができる。 <u>2024年の日</u>
	下から 4～3		<u>2019年の日本人の健康寿命</u> （日常生活に制限のない期間の平均）は、男で <u>72.68</u> 年、女で <u>75.38</u> 年であり、…	<u>2022年の日本人の健康寿命</u> （日常生活に制限のない期間の平均）は、男で <u>72.57</u> 年、女で <u>75.45</u> 年であり、…
276	下から 3～1	11) 受療率	<u>2020年10月の調査日</u> に全国の医療施設で受療した推計患者数は、入院が <u>121</u> 万人、外来が <u>714</u> 万人である。全国の入院受療率は <u>960</u> 、外来受療率は <u>5,658</u> で、これは調査日に人口の約 <u>1.0%</u> が入院しており、約 <u>5.7%</u> が外来を受診したことを示している。	<u>2023年10月の調査日</u> に全国の医療施設で受療した推計患者数は、入院が <u>117.5</u> 万人、外来が <u>727.5</u> 万人である。全国の入院受療率は <u>945</u> 、外来受療率は <u>5,850</u> で、これは調査日に人口の約 <u>1.0%</u> が入院しており、約 <u>5.9%</u> が外来を受診したことを示している。

2025年発表資料に基づき刷新した図表（上記を除く）

頁	図表番号	タイトル
26	表 2-6	喫煙率：日本と先進中進諸国との比較
65	図 3-3	食中毒患者数の年次推移
66	表 3-11	食中毒事件数・患者数等の推移
67	表 3-12	腸管出血性大腸菌（VT 産生）による食中毒の発生状況
142	図 5-1	労働災害による労働者の死傷病者数および死亡者数の推移
150	図 6-1	主要傷病別受療率の年次推移
151	表 6-1	精神障害者の受療率
158	表 6-3	全国の精神病院数、在院患者数、措置患者数、措置率、病床利用率の年次推移
159	表 6-4	単科精神病院の在院・外来患者の年次推移
167	表 7-2	乳児死亡、新生児死亡および早期新生児死亡の実数、率（出生 10 万対）および割合（2023 年）
	図 7-1	乳児死亡率（出生千対）の国際比較
185	表 8-6	日本スポーツ振興センターの死亡見舞金給付状況（死因別）
186	表 8-7	主な疾病・異常被患率の推移
190	表 9-1	わが国の人口の年齢 3 区分別人口・構成割合および諸指標の年次比較
194	図 9-1	部位別にみた悪性新生物の年齢調整死亡率（人口 10 万対）の年次推移
197	図 9-2	心疾患の死亡率（人口 10 万対）の年次推移
200	図 9-4	主要死因別にみた死亡率（人口 10 万対）の年次推移
203	図 9-5	特定健康診査・特定保健指導の概要
263	図 13-2	<u>2024 年の日本の人口ピラミッド</u>
265	図 13-4	出生数と合計特殊出生率の推移
268	表 13-2	粗死亡率・年齢調整死亡率（人口千対）の推移
269	図 13-6	日本の年齢階級別死亡率の推移
270	図 13-7	日本の死因別死亡率の推移
275	図 13-10	各国の平均寿命の比較
277	図 13-12	性・年齢階級別受療率（入院と外来、 <u>2023 年 10 月</u> ）

表 10-4 日本の現在の定期の予防接種

	対象疾病 (ワクチン)	接種種		回数		
		対象年齢等	標準的な接種年齢等			
A 類 疾 病	ジフテリア 百日せき 破傷風 急性灰白髄 炎(ポリオ) Hib 感染症	DPT-IPV 混合ワクチン, DPT 混合ワクチン, IPV ワクチン, DT 混合ワクチン	1 期初回 生後 2~90 月未満	生後 3~12 月	3 回	
			1 期追加 生後 2~90 月未満 (1 期初回接種(3 回)終了後, 6 か月以上の間隔をおく)	1 期初回接種(3 回)後 12~18 月	1 回	
		DT 混合ワクチン	2 期 11~13 歳未満	11~12 歳	1 回	
	麻しん 風しん	乾燥弱毒性麻しん・ 風しんの単独または 混合ワクチン	1 期 生後 12~24 月未満	/	1 回	
			2 期 5 歳以上 7 歳未満の者であって、小 学校就学の始期に達する日の 1 年前 の日から当該始期に達する日の前日 までの間にある者		1 回	
	日本脳炎	乾燥細胞培養日本脳 炎ワクチン	1 期初回 生後 6~90 月未満	3~4 歳	2 回	
			1 期追加 生後 6~90 月未満 (1 期初回終了後概ね 1 年をおく)	4~5 歳	1 回	
			2 期 9~13 歳未満	9~10 歳	1 回	
	B 型肝炎	組換え沈降 B 型肝炎 ワクチン	1, 2, 3 回目 1 歳に至るまでの間	生後 2~9 月の間	3 回	
	結核	BCG ワクチン	1 歳未満	生後 5~8 月の間	1 回	
	Hib 感染症	乾燥ヘモフィルス b 型ワクチン	初回 3 回	生後 2 月以上生後 60 月に至 るまで	初回接種開始は、生後 2 月~生後 7 月に至るまで	3 回
			追加 1 回		1 回	
	肺炎球菌感 染症(小児)	沈降 15 価肺炎球菌 結合型ワクチン, 沈 降 20 価肺炎球菌結 合型ワクチン	初回 3 回	生後 2 月以上生後 60 月に至 るまで	初回接種開始は、生後 2 月~生後 7 月に至るまで	3 回
			追加 1 回		追加接種は、生後 12 月 ~生後 15 月に至るまで	1 回
	水痘	乾燥弱毒生水痘ワク チン	1 回目	生後 12~36 月の間	1 回目の注射は生後 12 ~15 月に達するまで、2 回目の注射は 1 回目の 注射終了後 6~12 月ま での間隔をおく	2 回
			2 回目			
	ヒトパピロ ーマウイルス (HPV) 感染症	組換え沈降 2 価ヒトパ ピローマウイルス様粒子ワ クチン, 組換え沈降 4 価 ヒトパピローマウイルス 様粒子ワクチン, 組換え 沈降 9 価ヒトパピローマ ウイルス様粒子ワクチン	12 歳となる日の属する年度の初日から 16 歳となる日の属する年度の末日までの間に ある女子		13 歳となる日の属する 年度の初日から当該年 度の末日までの間	3 回
	ロタウイル ス感染症	経口弱毒生ヒトロタ ウイルスワクチン	1, 2 回目 出生 6 週 0 日後~24 週 0 日後ま で	出生 6 週 0 日後~32 週 0 日 後まで	初回接種については、 生後 2 月に至った日か ら出生 14 週 6 日後まで の間	2 回
		5 価経口弱毒生ロタ ウイルスワクチン	1, 2, 3 回目		3 回	
インフルエ ンザ	インフルエンザ HA ワクチン	ア 65 歳以上の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定 の障害を有する者など	/	毎年度 1 回		
新型コロナ ウイルス感 染症	コロナウイルス (SARA- CoV-2) RNA ワクチン, 組換えコロナウイルス (SARA-CoV-2) ワクチン	ア 65 歳以上の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定 の障害を有する者など		毎年度 1 回		
肺炎球菌感 染症 (高齢者)	23 価肺炎球菌莢膜 ポリサッカライドワ クチン	ア 65 歳の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定 の障害を有する者など		1 回		
带状疱疹	乾燥弱毒生水痘ワク チン, 乾燥組換え帯 状疱疹ワクチン	ア 65 歳以上の者 イ 60 歳以上 65 歳未満の者のうち、一定 の障害を有する者など		生ワクチン 1 回, 組換えワ クチン 2 回		

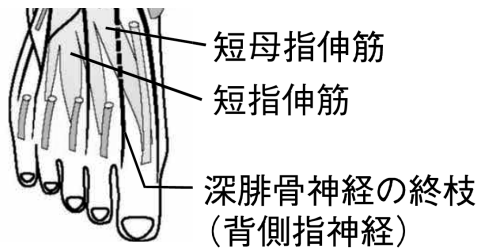
(2025 年 5 月現在. 国民衛生の動向 2025/2026 を一部改変)

『関係法規』

頁	行	項目	第 7 版第 17 刷 (2025 年 1 月) 該当箇所	第 7 版第 18 刷 (2026 年 1 月) 修正
73	13	(2) 定義	13 行目の次に以下の文章を追加 1) 特定医薬品 とは、医薬品のうち、次に掲げる医薬品以外の医薬品（専ら動物のために使用されることが目的とされているものを除く。）をいう。 ① 第 4 条第 5 項第 3 号に規定する要指導医薬品 ② 第 4 条第 5 項第 4 号に規定する一般用医薬品 ③ 薬局開設者が当該薬局における設備及び器具をもつて製造し、当該薬局において直接需要者に販売し、又は授与する医薬品（体外診断用医薬品を除き、厚生労働大臣の指定する有効成分以外の有効成分を含有しない医薬品に限る。）	
	14		1) 薬局 とは、…	m) 薬局 とは、…
	19		19 行目の次に以下の文章を追加 また、薬局であって、その機能が、利用者の薬剤及び医薬品の使用に関する情報を把握し、当該利用者の求めに応じて当該利用者における健康の保持増進に必要な情報の提供及び薬学的知見に基づく指導を実施するために必要な機能に関する次に掲げる要件に該当するものは、その所在地の都道府県知事の認定を受けて 健康増進支援薬局 と称することができる。	
	下から 4		m) 製造販売 とは、…	n) 製造販売 とは、…
74	1		n) 医療機器の製造、販売	o) 医療機器の製造、販売
76	下から 1		「3) 麻薬及び向精神薬取締法」の次に、「4) 大麻草の栽培の規制に関する法律」として以下の文章を追加 4) 大麻草の栽培の規制に関する法律 2024 年 12 月の法改正により、大麻が「麻薬」の一種として指定され、大麻の単純使用が麻薬及び向精神薬取締法違反の罪となり、処罰対象になった（単純施用（使用）：7 年以下の拘禁刑）。 大麻は麻薬と位置付け、大麻の使用を使用罪として明確にしたことと、「大麻草」とは、カンナビス・サティバ・リンネをいうとし、「大麻」とは、大麻草（その種子及び成熟した茎を除く。）及びその製品（大麻草としての形状を有しないものを除く。）をいう。 また、大麻草の栽培に関する規制が下記のように変わった。 第一種大麻草採取栽培者：大麻草から製造される製品の原材料を採取する目的で大麻草を栽培でき、 免許権者は都道府県知事 となる。 第二種大麻草採取栽培者：医薬品医療機器等法第 2 条第 1 項に規定する医薬品の原料を採取する目的で大麻草を栽培でき、 免許権者は厚生労働大臣 となる。 大麻草研究栽培者：大麻の栽培を伴う研究で、 免許権者は厚生労働大臣 となる。	
		① 社会福祉事業	下線部を追加	…身体障害者短期入所事業、精神障害者社会復帰施設、親子関係形成支援事業又は乳児等通園支援事業等がある（第 2 条第 3 項）。
98	6	(2) おもな定義等	下線部を追加	律第 5 条第 1 項に規定する…

106	15~18	(4) 後期高齢者医療制度の概要	<p>15 行目から 18 行目を以下の文章に差し替え</p> <p>※ それぞれの年齢層における一部負担（自己負担）割合は、75 歳以上の者は、1 割（現役並み所得者は 3 割，現役並み所得者以外の一定所得以上の者は 2 割（2022 年 10 月以降））、70 歳から 74 歳までの者は、2 割（現役並み所得者は 3 割.）、70 歳未満の者は 3 割. 6 歳（義務教育就学前）未満の者は 2 割となっている.</p>
-----	-------	------------------	---

『解剖学』

頁	行	項目	第2版第20刷(2025年1月) 該当箇所	第2版第21刷(2026年1月) 修正
92	下から 2~1	① 濾過膜	…濾過される。原尿を濾過する糸球体内皮…	…濾過される。血漿の濾過によって原尿を生成する糸球体内皮…
93	2~5	② 傍糸球体装置	2行目から5行目を以下の文章に差し替え ネフロンに備わる傍糸球体装置は血圧の変化に応じてレニンというホルモンを出して対応する。傍糸球体装置は、輸入細胞脈にある 傍糸球体細胞 と遠位尿細管にある 緻密斑 から形成される。多量の出血などによって血圧が低下した場合、傍糸球体細胞からレニンを血中に分泌することで一時的な血圧の上昇に関わる。また、遠位尿細管を流れる尿の電解質濃度は緻密斑によって監視される。	
294	図10-142	大腿後面および下腿の神経・血管	左図の足の甲の部分を下に修正 	

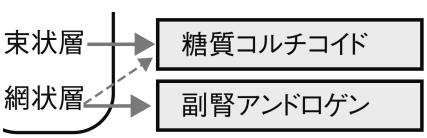
『生理学』

頁	行	項目	第3版第12刷(2025年1月) 該当箇所	第3版第13刷(2026年1月) 修正
283	8	(3) リンパ球	下線部を追加	キラーT細胞の働きによる。さらに、 <u>制御性T細胞</u> は過剰な免疫反応を制御する。

『病理学概論』

頁	行	項目	第2版第23刷(2025年1月) 該当箇所	第2版第24刷(2026年1月) 修正
25	下から 17~16	A) 原虫類	…アメーバ赤痢が発症するし、 <u>日和見感染</u> としての カリニ肺炎 やマラリア、	下線部を削除

『解剖生理』

頁	行	項目	第1版第2刷(2025年3月) 該当箇所	第1版第3刷(2026年1月) 修正
198	下から 5~3	(2) 胸膜と縦隔	…胸膜は狭い袋状につなが って あり、その内部を胸膜腔と呼び、少量の漿液からなる胸膜内液で満たされている。	…胸膜は狭い袋状につながり、その内部を胸膜腔という。胸膜腔には少量の漿液からなる胸膜液(胸水)が存在し、肺の滑らかな動きを助ける。病気としての胸水(胸水貯留)は、胸膜液が異常に増加した状態をいう。
224	9	8-腹膜と腹膜腔	腹膜腔は腹水で満たされており、消化管臓器は摩擦なく滑らかに動くことができる。	腹膜腔には少量の漿液からなる腹膜液(腹水)が存在し、胃腸の滑らかな動きを助ける。病気としての腹水(腹水貯留)は、腹膜液が異常に増加した状態をいう。
226	2~3	(2) 摂食関連ペプチド	…脂肪蓄積などの作用がある。	…脂肪蓄積などに働く。
253	12~13	4-副腎	分泌する球状帯、糖質コルチコイドを分泌する束状帯、主に副腎アンドロゲンを分泌する網状帯からなる。…	分泌する球状層、糖質コルチコイドを分泌する束状層、主に副腎アンドロゲンを分泌する網状層からなる。…
	図 10-10	副腎からのホルモン分泌	(図中央) 球状層 束状層 網状層 (網状層からの矢印) 斜め上向きの矢印を破線に 	

『臨床医学総論』

頁	行	項目	第2版第17刷(2025年1月) 該当箇所	第2版第18刷(2026年1月) 修正
35	下から4	3) 高血圧	下線部を追加	…高血圧と判定する。2025年日本高血圧学会「高血圧管理・治療ガイドライン2025」では、血圧の基準値には2019年版と変更がないが、降圧目標は一律に「130/80mmHg未満(家庭血圧125/75mmHg)」と厳格化された。
116	4~5	4) 深部反射	… <u>脊髄の前角の障害</u> (灰白髄炎など)、 <u>脊髄後索の障害</u> (脊髄瘍 など)などで、それぞれの反射弓に…	…脊髄の前角の障害(灰白髄炎など)、 <u>神経根障害</u> などで、それぞれの反射弓に…
248	1	38. 出血傾向	下線部を追加	38. 出血傾向(<u>出血性素因</u>)

『臨床医学各論』

頁	行	項目	第2版第22刷(2025年1月) 該当箇所	第2版第23刷(2026年1月) 修正
55	下から 6~5	c. 膵癌	…膵尾部癌に分ける。そのほかの悪性腫瘍としてインスリノーマ、グルカゴノーマなどの内分泌腺から発生したものがある。	下線部を削除
62	2~5	c. 肺炎	なりうる。 【疫学】肺炎による死亡率は、 10万人比で 65~69歳は35.9人、75~79歳は189.1人、85~89歳は1,005人(2015年データ)と、加齢とともに死亡率は著しく増加する。社会の高齢化に伴い、肺炎による死者数が増加しており、年間約12万1千人(2015年)が	なりうる。高齢者の肺炎死因の大部分は誤嚥性肺炎である。 【疫学】肺炎による死者数は、65~69歳は1,481人、75~79歳は7,113人、85~89歳は19,076人(2023年データ)と、加齢とともに著しく増加する。社会の高齢化に伴い、肺炎による死者数が増加しており、年間約7万5千人(2023年)が
	下から8		下線部を追加	…それに続く。誤嚥性肺炎では口腔レンサ球菌が最も多い。
63	下から 15		肺炎球菌ワクチンの接種が推奨されている。1回の接種で5年間有効である。	下線部を削除
66	下から 6~5	a. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	③小児期に呼吸器感染症にかかると青年期以降の1秒量の経年低下速度が大きいことや、気管支喘息患者では…	③小児期に呼吸器感染症にかかると肺の発育不良や青年期以降の1秒量の経年低下速度が増すこと、気管支喘息患者では…
70	下から 8~7	a. 気管支喘息	…IL-5受容体抗体のほか、気管支サーモプラスティなど、難治性喘息患者に…	…L-5受容体抗体のほか、IL-4/IL-13受容体抗体、TSLP抗体など、難治性喘息患者に…
74	図4-8	下図に差し替え		
		<p>図4-8 悪性新生物<腫瘍>の主な部位別死亡率(人口10万対)の年次推移 (厚生労働省:令和6年人口動態統計月報年計(概数)の概況,2024より)</p>		

201	5	(2) 僧帽弁閉鎖不全症	下線部を追加	僧帽弁修復術 (Mitra Clip) という治療法が注目されている。
208	下から11	a. 狭心症	…患者数は <u>72</u> 万人 (2017 年データ) で、	…患者数は <u>62.7</u> 万人 (2023 年データ) で、
218	表 9-2	降圧目標	(下行・中央列) < <u>140/90</u> (下行・右列) < <u>135/85</u> (出典) …ガイドライン <u>2019</u>	(下行・中央列) < <u>130/80</u> (下行・右列) < <u>125/75</u> (出典) …ガイドライン <u>2025</u>
295	7	(1) 出血と止血	③ 実質性出血:毛細管レベルもしくは <u>最小</u> 小血管からの…	③ 実質性出血:毛細管レベルもしくは <u>細</u> 小血管からの…
	下から6		いし <u>最小</u> 静脈レベルからの…	いし <u>細</u> 小静脈レベルからの…
303	下から1	(3) その他の薬物	① ロクロニウム: <u>新しい</u> 筋弛緩薬である。…	① ロクロニウム: <u>短時間で作用する非脱分極性</u> 筋弛緩薬である。…
304	2~6		② ベクロニウム:気管挿管時に用いられ、手術中の筋弛緩目的に使用する。効果持続時間は短く 45~60 分くらいである。肝からおもに代謝、排泄されるが、腎からの排泄もあるので、肝、腎障害患者では作用が延長する。 ③ 筋弛緩回復薬 スガマデクスナトリウム:ロクロニウム、 <u>ベクロニウム</u> を選択的に…	下線部を削除
	17		(4) バランス麻酔	下線部を追加
305	9	(6) 全身麻酔に必要な器具	下線部を追加	…チューブ内に入れて使うものである。喉頭鏡に関しては、 <u>モニター画面を見ながらスムーズな気管挿管を可能にするビデオ喉頭鏡 (McGRATH, エアウェイスコープ)</u> を使用している。
322	下から5	a. 神経症	…4 分割されていた。最新版の DSM-5 (2013 年)	下線部を削除
323	8		【診断】 DSM- <u>IV</u> か ICD-10 による…	【診断】 DSM- <u>5</u> か ICD-10 による…